

塔本シスコ展 Tomoto Shisuko's Paradise

I Can't Help But Paint: A Picture Diary of My Life

シスコ・パラダイス

かかすにはいられない! 人生絵日記

塔本シスコは、1913(大正2)年、現在の熊本県八代市に生まれました。養父の傳八は、自身のサンフランシスコ行きの夢を託し、彼女をシスコと命名します。次第に家業がかたむき、シスコは小学校を中退。その後、奉公を重ね、20歳で結婚し、一男一女を得ます。46歳の年には、夫が急逝、心身ともに衰弱する日々から立ち直るなかで、子どもの頃から憧れていた絵を描くことに心をよせていきます。

53歳のある日、シスコは大きなキャンパスに油絵を描き始めました。その絵画世界は、何ものにもとられない、胸中に沸きおこる喜びや夢があふれ出てくるものです。作品の主題は、大切に育てている草花や小動物たち、そして時間も場所も自由自在に乗り越えて、子どもの頃の思い出にまで広がります。生涯にわたって、少女のような純粋さを保ち、喜びと夢を制作の源泉にしていたシスコは、「私は死ぬまで絵を描きましょう」と絵筆を握り続け、2005年に91歳の人生を閉じました。

様々な経験乗り越え、生み出してきたその作品一つひとつは、まさに彼女の人生絵日記といえます。200点以上の作品で埋め尽くされた会場は、素敵なシスコ・パラダイス! 現在もお、輝きを放ち続けるシスコさんにあなたも会いに来てください。

《古里の家(シスコ、ミドリ、シユクコ、ミア、ケンサク)》(部分) 1988年 キャンパス、油彩

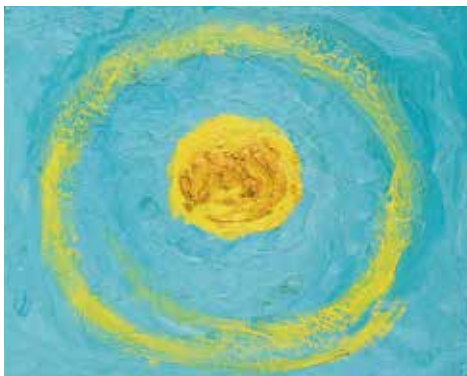


《オノダチの大運動会》2001年 段ボール、油彩、アクリル絵具、フェルトペン



《金魚 大和錦の産卵》1992年 キャンパス、油彩

《ウマイレガワ》2001年 キャンパス、油彩



《シスコの月》2004年 キャンパスボード、油彩



《絵を描く私》1993年 キャンパス、油彩



《もらったラン、もらったシクラメン》1996年 キャンパス、油彩

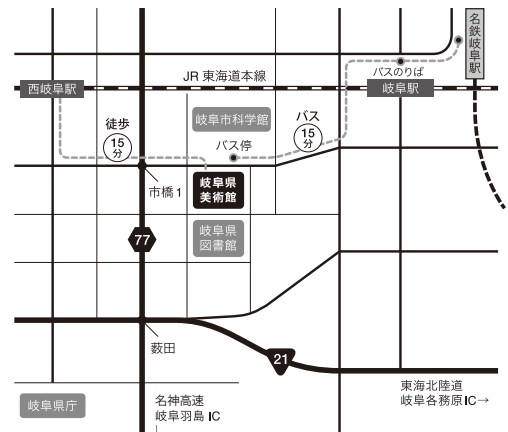


《ネコ》1996年 板、油彩

関連プログラム

- ナンヤローネ アートツアー | 4月30日(土) 14:00~15:30
- 太下義之×日比野克彦【対談】クリエイティブ・エイジング | 5月5日(木・祝) 14:00~15:30
- ナンヤローネ アートアクション | 5月7日(土) 10:30~12:00 / 13:30~15:00
- ナイトギャラリートーク | 5月20日(金)、6月17日(金) 19:00~19:30
- お孫さんにシスコのことをさく | 5月21日(土) 14:00~15:00
ゲスト: 福迫弥麻、塔本研作
- 保坂健二郎×日比野克彦【対談】 | 6月4日(土) 14:00~15:30
- スライドトーク | 6月5日(日) 14:00~15:00
担当学芸員: 鳥羽都子

※全て無料、要観覧券。アートツアーとアートアクションは要事前申込。詳細はWebサイトでご確認ください。



【交通案内】

- 公共交通機関利用の場合
 - JR東海道本線 西岐阜駅 南口から徒歩約15分
 - 岐阜バス(鏡島市橋線) JR岐阜駅前(6番乗場)または名鉄岐阜駅前[1番乗場]から「市橋」行きに乗車(約15分)「県美術館」下車
 - 岐阜市コミュニティバス(県図書館・美術館)下車 西ぎふくるくるバス[1日7便、市橋地区循環]JR西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路約30分) / すまいるバス[1日9便、三里・本荘地区循環]
- タクシー利用の場合 ●JR岐阜駅または名鉄岐阜駅前から乗車(約10分)
- 自家用車をご利用の場合 無料駐車場有り。「おもいやり駐車場」(6台)は美術館北東

岐阜県美術館

THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22 Tel.058-271-1313 | Fax.058-271-1315